

名古屋外国語大学オープンカレッジ 2025年度 冬期特別講座 (集中)

開講
期間

2026年 2月16日(月)–2月20日(金)

5日間



名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト)

講座一覧



■教養講座

番号	科目名	担当者	開講時限	コマ数	受講料(税込)
C101	玄奘三蔵と仏跡を巡る —『大唐西域記』の世界—	湯谷 祐三	18:20-19:40	5コマ	6,900円
C102	芸術の国イタリアの予備知識	桑原 恒和	18:20-19:40	5コマ	6,900円
C103	はじめての宗教学：贈物をするときに「つまらないものですが」と言い添えるのはなぜか？他	根無 一信	18:20-19:40	5コマ	6,900円
C104	ケアの未来をデザインする：人生最終章と地域社会のリスクリング入門	城月 雅大	18:20-19:40	5コマ	6,900円
C105	English for Cultural Understanding & Communication	ケビン・オットソン	18:20-19:40	5コマ	6,900円



■言語講座

番号	科目名	担当者	開講時限	コマ数	受講料(税込)
L101	中国語の旅行会話	周素芬 (シュウ・ソウフン)	18:20-19:40	5コマ	6,900円
L102	5日で学ぶ韓国語の会話（旅行編）	李惠敏 (リ・ヘミン)	18:20-19:40	5コマ	6,900円
L103	チャオ！五日間で学ぶイタリア語基礎入門クラス	アナスター・ジヤ・ブンドック	18:20-19:40	5コマ	6,900円
L104	初心者のためのウクライナ語集中コース	テチヤナ・サイエンコ	18:20-19:40	5コマ	6,900円
L105	ポルトガル語入門：ブラジル文化とポルトガル語を楽しく学ぶ	ジアス・ハダマ・パトリシア	18:20-19:40	5コマ	6,900円
L106	らくらくタイ語文法から会話	寺田 ダラポン	18:20-19:40	5コマ	6,900円
L107	はじめてのロシア語能力検定4級：文法のきほんと表現	杉山 真央	18:20-19:40	5コマ	6,900円
L108	英文法・語法ビルドアップ講座：TOEIC® L&R, TOEFL® ITP攻略のストラテジー！	橋尾 晋平	18:20-19:40	5コマ	6,900円

※受講料にテキスト代は含まれません。



玄奘三蔵と仏跡を巡る—『大唐西域記』の世界—

C101・6限

湯谷 祐三（5コマ）

教材：教科書は使わない

◆講師プロフィール

湯谷 祐三（ユタニ ユウゾウ）
名古屋大学修士
名古屋外国語大学非常勤講師
国文学

◆講座の趣旨・目標

『大唐西域記』は、七世紀前半の唐僧玄奘が、中央アジアからインドに至り、数多の仏跡を巡り、多くの師について習学、自身も講説を行い、多数の經典を携えて帰国した日々の記録である。当時の仏跡の状況が詳細にわかるというだけではなく、釈迦から始まつたインド佛教史の変遷をも読み取ることができるという点で貴重である。本講座では、玄奘に導かれてインドの仏跡を巡拝しながら、自然に佛教の発生と展開の諸相を会得したいと思う。

◆講座内容

- 第1回 玄奘の生い立ちから西域への出発、トルファンに至る。
- 第2回 クチャからサマルカンド・バーミヤンを経てインドに至る。
- 第3回 仏跡参拝1（祇園精舎、クシナガラ、鹿野園など）。
- 第4回 仏跡参拝2（ブダガヤ・王舍城・靈鷲山など）
- 第5回 受業と講説の日々、帰国

※内容に一部変更の場合もあります。

- 参考1、水谷真成訳『大唐西域記』（中国古典文学大系22、平凡社）
参考2、長澤和俊訳『玄奘三蔵—西域・インド紀行』（講談社学術文庫1334）



教養講座

芸術の国イタリアの予備知識

C102・6限

桑原 恒和（5コマ）

教材：教科書は使わない

◆講師プロフィール

桑原 恒和（クワハラ ツネカズ）

日本大学 芸術学部 美術学科卒、日本大学 芸術学部 美術学科 芸術研究所修了、イタリア・フィレンツェ美術学院

（アカデミア）卒 ディプロマ（芸術・彫刻）取得、アメリカ・ニューヨークの美術学校アート・スクューデンツ・リーグでドローイング、絵画、彫刻を学ぶ

名古屋外国語大学 非常勤講師（イタリア語）、名古屋芸術大学 非常勤講師（イタリア語）、名古屋文化学園保育専門学校 非常勤講師（基礎造形、表現造形指導法）、南山エクステンション・カレッジ 講師（イタリア語、イタリア美術）、星城大学オープン・カレッジ（イタリア美術）

イタリア語、西洋美術史、児童絵画法



◆講座の趣旨・目標

映像と共に、「芸術の国イタリア」を堪能します。「ローマは一日にして成らず」「全ての道はローマに通ず」「ローマではローマ人のする様にせよ」などのことわざで知られる永遠の都ローマの先進的でダイナミックな建造物と文化を誇った古代ローマの紹介から始まり、キリスト教最大の教会であるヴァチカンについて、次に中世末期に於いて人間中心主義を高らかに謳ったルネサンス文化を生み出した商業都市フィレンツェについて、そしてそのライバル都市でありエンジニアに関心を置く風土であったミラノ、海上貿易が盛んであり、東方文化との交流があったが故にキリスト教による行き過ぎた束縛が少なかった海洋都市国家ヴェネツィアについて、そしてカトリック教会の中で最も人気の高いフランチェスコ派の聖地であるアッシジなどを毎回都市と文化の紹介と共に、その都市を代表する美術作品を観て行きます。

◆講座内容

随时、中世キリスト教絵画、彫刻の解説へと進む前に、講師が用意した近代や現代の作家や作品、あるいは現在、美術館で観れる展覧会等も、比較として紹介する場合があります。以下、紹介する予定の都市と内容のキーワードです。

第一回目の都市としてはローマとヴァチカン

内容としてはコロッセオ、フォロ・ロマーノ、ローマン・リア

リズム、システィーナ礼拝堂、盛期ルネサンスの巨匠ミケランジェロとラファエロ、バロック芸術のベルニーニについて

第二回目の都市としてはフィレンツェとシエナ

内容としてはウフィツィ美術館、遠近法の確立、自然主義、新プラトン主義、ドナテッロ、マザッチオ、フラ・アンジェリコ、ボッティチエリなどの初期ルネサンスのフィレンツェ派とドゥッチオ、シモーネ・マルティーニなどの国際ゴシック様式について

第三回目の都市としてはミラノとアッシジ

内容としてはレオナルド・ダ・ヴィンチの都市計画、「最後の晩餐」、建築家ブラマンテによる内陣装飾、ミケランジェロの遺作「ロンダニーニのピエタ」、聖人フランチェスコを描くプロト・ルネサンスの画家ジオットについて（1）

第四回目の都市としてはヴェネツィアとパドヴァ

内容としてはアカデミア美術館、ベッリーニ、ジョルジョーネ、ティツィアーノ、ティントレットなどのヴェネツィア派について、スクロヴェーニ礼拝堂内の壁画を描くプロト・ルネサンスの画家ジオットについて（2）

第五回目は、まとめの回とします。

キーワードとして、ルネサンスとは？、マニエリスムとは？、バロックとは？についてを中心に、代表となる各作品から理解して行きます。

◆自己紹介

私がNYの美術学校にいた頃、午後からのドローイング・コースへ参加する前に、午前中は出来るだけメトロポリタン・ミュージアムへ行き、黄金比によるプロポーションなど計算の行き届いた古代ギリシア彫刻を観た後、今度は spontaneous（自然発生的）な表現方法によるアフリカン・アート、プリミティブ・アートを観る様していました。それは計算しつくされたものと、それとは別次元であり異質なものの表現、それぞれの良さを理解したかったからです。そして今度は、ルネサンスに目を向けるとドナテッロの作品は、何故かくも情念的な作品になっていたんだろう、ミケランジェロが作品に於いて完璧なプロポーションから敢えてずんぐりむっくりな、引き伸ばされた様なプロポーションへと変わっていったんだろうかと考えます。それらの意味を将来、ウフィツィ美術館やアカデミア美術館、システィーナ礼拝堂などを訪れる際の予備知識となる様、検証して行きましょう。

はじめての宗教学：贈物をするときに「つまらないのですが」と言い添えるのはなぜか？他

C103・6限

根無 一信（5コマ）

教材：教科書は使わない

◆講師プロフィール

根無 一信（ネム カズノブ）

京都大学博士（人間・環境学）

名古屋外国語大学 准教授

哲学、倫理学、宗教学、妖怪学



◆講座の趣旨・目標

北九州市の「ド派手な成人式」は、宗教

学的には恐らく日本で唯一の「正しい成人式」です。好きな芸能人と同じ服を着たり、贈り物をする時に「つまらないのですが」と言い添えるのは、宗教学的には「呪術的」な行為といえます。宗教学を学ぶと、日々の暮らしの中にこれまで気付かなかつた奥行きが見えてきます。そういう奥行きを生きることができるところに、人間の人間らしさがあるといえるかもしれません。この講座で宗教学を学んでみませんか。

◆講座内容

第1回：【宗教的実践】バンジージャンプが成人式？

世界には命がけの成人式があります。なぜそこまでするのでしょうか。様々な宗教的実践を分析します。

第2回：【神義論】善人が不幸になるのはなぜか？

世界が唯一神によって創造されたとする宗教は、善人が地震で亡くなるような理不尽な世界を創造した神を弁護できるのでしょうか。

第3回：【巡礼】なぜ人は聖地へ巡礼するのか？

宗教学的には、それは人間が人間であるためであるといえます。聖地がもつ意味を考察します。

第4回：【死生観】王が死ぬとなぜ人々は号泣するのか？

韓流時代劇でよく見かけるこの光景には固有の死生観が関わっています。実は日本の墓参りも同じ死生観に基づいていると考えられます。

第5回：【超越的存在者】神と仏、どっちがえらい？

実はこれは時代によって変わります。なぜ変わるのでしょうか。また、そもそも神と仏とは何なのでしょうか。

◆自己紹介

1979年大阪生まれ大阪育ち。高校卒業後、無人島生活や八重山諸島放浪（18歳）、インド放浪（19歳）などを経て、徒步と野宿で日本縦断（20歳）。その後、独学して京都大学へ進み、哲学研究者を志す（24歳）。2016年に哲学研究で博士号取得。特技は素潜り漁、サッカー、循環呼吸。趣味はキントレ、三線演奏、ハーデロックとブルース鑑賞、料理（根無家の炊事担当）。



教養講座

ケアの未来をデザインする：人生最終章と地域社会のリスクリング入門

C104・6限

城月 雅大（5コマ）

教材：教科書は使わない

◆講師プロフィール

城月 雅大（シロツキ マサヒロ）
立命館大学 博士（政策科学）
名古屋外国语大学現代国際学部 准教授
藤田医科大学社会実装看護創成研究センター 客員准教授
メディカルツーリズム、観光まちづくり論



内容：

日本と世界の死生観の違い
アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の考え方と実践
「死を語る」ことが生き方を豊かにする理由

第3回：地域はケアの現場であり資源：“つながり”の再構築

学びの主軸：

地域社会の可能性を見つめ直し、再構築のためのアクションプランを構想する。

内容：

孤立と共生の現場に見る課題と希望
地域包括ケアシステムの概要と現場の工夫
地域にあるケア資源を「発見」するフィールドワーク

第4回：リスクリングとしてのケア：“学び直し”が社会を変える

学びの主軸：

他者とともに「より良く生き、より良く終える」未来を語り合い、学び直す力を育む。

内容：

ケアを通じて育まれる「非認知スキル」
異業種からケア分野へ入ったゲストによる実践ストーリー
自分のスキルや経験を“ケア”に活かす方法の探究

第5回：ケアを語り、描き、つくる：未来への共創ワークショップ

学びの主軸：

多職種・多世代の視点からの「対話力」「共感力」「共創力」を高める。

内容：

少人数でのダイアログとアイディエーション
自分自身の「ケアのビジョン」を描く
グループでの未来共創と「私たちにできる小さな一歩」づくり

◆講座の趣旨・目標

人生100年時代。平均寿命が延びる一方で、「最期をどう生きるか」「誰と、どこで、どう支え合うか」は、多くの人にとってまだ明確なビジョンが持てていません。この講座は、「人生の最終章＝ケアの現場」に、未来をデザインする視点と地域での実践力を取り入れることで、誰もが自分らしいラストステージを選択できる社会の構築を目指します。社会人としての経験や知識を活かしながら、ケアを「特別な人の仕事」ではなく「すべての人の関心ごと」へとリスクリングする場です。

◆講座内容

第1回：ケアとは何か？：“支える”を再定義する
学びの主軸：
「ケア」を医療・福祉の専門領域に閉じず、自分ごととしてとらえ直す。

内容：

ケアの語源、文化的・社会的な意味の変遷
家族・地域・仕事場での「見えないケア」を可視化
日常に潜むケアの実践例と、自分自身のケア経験の棚卸し

第2回：人生の最終章をデザインする：死生観とケアの未来
学びの主軸：
人生の最終章に必要な社会的・心理的・文化的視点を学ぶ。

English for Cultural Understanding & Communication

C105・6限

ケビン・オットソン（5コマ）

教材：教科書は使わない 授業の使用言語：英語

◆講師プロフィール

Kevin Ottoson (ケビン オットソン)

B.S. Secondary Education, University of Nebraska-Lincoln,

M. A. (TESOL) Nagoya University of Foreign Studies

Ed. D (Educational Leadership)
University of New England

名古屋外国語大学外国語学部英米語学科 講師

Lecturer in the Department of British and American Studies at Nagoya University of Foreign Studies

異文化間コミュニケーション能力

Intercultural Communicative Competence



◆講座の趣旨・目標

Have you ever wanted to talk more deeply about yourself, your experiences, and the world around you in English? This course helps learners build confidence communicating across cultures. Through enjoyable and practical topics, participants will:

- Reflect on their own cultural identity and values
- Learn how culture influences communication, behavior, and relationships
- Share ideas and perspectives with classmates in English
- Practice expressing opinions, comparing cultures, and understanding others more deeply

Whether for travel, intercultural work, or personal growth, this course provides meaningful opportunities to communicate in clear, natural English.

◆講座内容

第1回 : Cultural Identity & Hidden/Visible Culture

Who are we? What shapes our way of thinking? We will explore how culture influences daily life, both what we can see and what is hidden beneath the surface.

第2回 : Values, Lifestyles & Communication Styles

We will discuss cultural values (e.g., time, harmony, independence) and compare different ways people express themselves across cultures.

第3回 : Adapting to New Environments

We will look at experiences of moving between cultures, dealing with uncertainty, and learning to adjust to new social expectations.

第4回 : Language, Culture & Nonverbal Behavior

How does language reflect cultural ideas? How do gestures, eye contact, and personal space differ? We will practice interpreting and using nonverbal communication.

第5回 : Etiquette, Gender Expectations & Intercultural Interaction

We will explore courtesy, politeness norms, and gender expectations in various cultures.

◆対象の英語レベル

Learners at an intermediate English level (CEFR B1 / TOEIC around 500) are the primary target.

However, upper-elementary learners (CEFR A2 / TOEIC 300) who want to challenge themselves in a supportive environment are also warmly welcome.

No specialized background is needed; you just need some curiosity and a willingness to participate.

◆自己紹介

My name is Kevin Ottoson. I've been teaching in Japan since 2006, and I am a lecturer in the Department of British & American Studies and the Graduate School of International Studies. When I am not teaching, you can usually find me being bossed around by my shiba inu or trying to exercise before he notices I've escaped.



言語講座

中国語の旅行会話

L101・6限

周素芬（シュウ・ソウフン）（5コマ）

教材：プリントを配布します

◆講師プロフィール

周素芬（シュウ・ソウフン）

名古屋学院大学大学院経済経営政策専攻修士

名古屋外国語大学 中国語講師

中国語（通訳）

題に関する会話をいくつか学んでみましょう。

◆講座内容

第1回 市内観光

第2回 地元の雑貨

第3回 道を尋ねる

第4回 会話練習

第5回 歌の紹介

◆講座の趣旨・目標

旅行中には、地元の雑貨や化粧品店に行ったり、散歩したり、夜

景を楽しんだりすることが多いですよね。今回は、これらの話

5日で学ぶ韓国語の会話（旅行編）

L102・6限

李惠敏（リ・ヘミン）（5コマ）

教材：教科書は使わない

◆講師プロフィール

李惠敏 Lee hyemin（リ・ヘミン）

名古屋大学文学修士

名古屋外国語大学非常勤講師

韓国語教授法

し、ハングルが読めない方でも簡単に覚えられるように授業を行います。旅行で使える韓国語のフレーズを覚えて韓国の旅行を楽しみましょう。

◆講座内容

第1回 空港編

第2回 ホテル編

第3回 観光・交通編

第4回 食事編

第5回 買い物編

◆講座の趣旨・目標

「5日で学ぶ韓国語の会話」では、基本的な挨拶を始め空港やタ

クシー、ショッピング、カフェ、ホテルなどで使える日常会話、

そして困った時に使える韓国語のフレーズなど、状況別に紹介

チャオ！五日間で学ぶイタリア語基礎 入門クラス

L103・6限

アナスター・ジヤ・ブンドック (5コマ)

教材：プリントを配布します 授業の使用言語：日本語、イタリア語

◆講師プロフィール

Anastazija Vunduk

(アナスター・ジヤ・ブンドック)

Accademia di Belle Arti di Firenze

絵画科、Scuola Mosaicisti del Friuli di

Spilimbergo "Irene di Spilimbergo" 卒

イタリア政府より伝統工芸モザイク画技法のプロ資格を取得

名古屋外国語大学 非常勤講師（イタリア語、バルカン半島の民族と宗教）、愛知県立 明和高等学校 音楽科 非常勤講師（イタリア語）、南山エクステンション・カレッジ 講師（イタリア語）、星城大学 オープン・カレッジ 講師（イタリア語）、中日文化センター栄教室 講師（クロアチア語）
イタリア語、クロアチア語、イタリア伝統工芸モザイク画技法



◆講座の趣旨・目標

Ciao! 初めてイタリア語を学ばれる方はもちろん、少し勉強された方の復習としても、イタリアとイタリア語が好きな方を対象に、分かり易い教材を基に、基礎文法の丁寧な解説とその応用会話を、ゆっくりと楽しく行う集中講座です。イタリア語は日本語と同じく絶えず A, E, I, O, U (ア、エ、イ、オ、ウ) の母音で終わり、語尾まではっきりと発音する事から親しみ易く、音楽用語の大半がイタリア語である事からもその抑揚はとても音楽的で、イタリア語を話していると歌っているかの様に元気に成れます。講師はイタリア語と日本語で解説を行いますので、安心してイタリア語学習をスタートする事が出来ます。又、クラスの雰囲気としてはイタリアに語学留学した様な気分が味わえます。話す練習がされたい方にもぴったりです。A presto!

◆講座内容

第1回 イタリア語のアルファベットと発音の仕方、名詞の性と数（男性と女性、単数と複数）、冠詞（定冠詞と不定冠詞）、特殊な性と数を持つ名詞について+会話表現としてはバール（喫茶店）、レストランでの注文の演習を行う。

第2回 動詞 essere（～である、～に居る）と avere（～を持つ）の用法、存在文 esserci（何々がここ、そこにある、

誰々がここ、そこに居る）、動詞 avere を使った構文+会話表現としては「君はどこに居るの？私は～に居ます」「君はどこの出身？」など自分についてを話す。

第3回 形容詞の語尾変化と名詞の前で特別な変化をする形容詞として bello (美しい、素敵な)、指示形容詞 quello (あの～、その～などの場所的に、時間的に遠いものを指す) は定冠詞型の変化を、対して buono (美味しい、性格や質の良い) は不定冠詞型の変化をする事について+会話表現としては、食べ物、飲み物が美味しいかどうか、服の色や大きさについてを話す。

第4回 動詞・現在形の活用変化として -are 動詞、-ere 動詞、-ire 動詞の規則変化と fare (～をする) などの不規則変化についてを学び+会話表現としては「君は何を買うの？私はセーターを買います」「君はどこに住んでいるの？誰と住んでいるの？どこで働いているの？」等の演習を行う。

第5回 現在の生活に関わる完了した過去の動作を表す近過去形の用法として助動詞 avere もしくは essere の現在形+過去分詞（規則的なものは -ato, -uto, -ito）で構成される複合時制についてを学び、不規則な過去分詞についても学びます。+会話表現としては近過去形を使ったものとして「君はいつ、映画を観たの？」「君は何時にミラノに着いたの？」等の演習を行う。

以上の内容を予定しておりますが、ゆっくりと楽しく授業を行います。

◆自己紹介

私がフィレンツェ・アカデミアの絵画科で学んでいた時、実際に色自身を手に取り、制作出来たらと思い、モザイク画技法も学びました。そして日本では、名古屋市東区白壁町に在る文化幼稚園正門前に、四頭の馬による出会いと別れをモチーフにしたモザイクによる壁画作品を納めました。そして近年制作したものとしては、JA 愛知厚生連・稻沢厚生病院のホーム・ページの画面から、当病院の中庭に設置した「アドリア海」「火山」「宇宙」「麦」をテーマとする、空へと昇る大きな葉っぱの形をした4体のモニュメント作品を御覧になれます。どうぞよろしく！ Piacere!



初心者のためのウクライナ語集中コース

L104・6限

テチヤナ・サイエンコ（5コマ）

教材：教科書は使わない 授業の使用言語：日本語、ウクライナ語

◆講師プロフィール

Tetyana Sayenko(テチヤナ サイエンコ)
Doctor (PhD in English Linguistics),
Kyiv National Linguistic University, Kyiv,
Ukraine
Lecturer, Nanzan University, Nagoya,
Japan
General and English Linguistics,
Ukrainian-English Translation, Intensive Methods of Teaching
Ukrainian and English



also learn about some aspects of Ukrainian culture.

◆講座内容

Lesson 1. Greetings and introductions.
Lesson 2. Shopping. Souvenirs. Gifts.
Lesson 3. Food. Eating at a restaurant.
Lesson 4. My country, my city.
Lesson 5. Holidays and celebrations.

◆自己紹介

Dear students,

My name is Tetyana Sayenko. I am a university professor from Ukraine. I have had many years of successful experience teaching courses in English and Ukrainian at Taras Shevchenko National University of Kyiv and Kyiv National Linguistic University in Ukraine. I have also taught Basic Ukrainian (Intensive course) and Ukrainian-English Translation at Penn State University in the USA. An intensive course proved to be a good beginning for gaining confidence and mastering a foreign language.

By the end of this Ukrainian Language intensive course, you will be able to communicate in basic, but very good Ukrainian.

I hope you will enjoy this course!

◆講座の趣旨・目標

The main objective of the course is to help Japanese speakers gain the conversational and reading skills necessary for successful interactions with Ukrainian speakers. It also provides students with an opportunity to quickly and effectively enter a Ukrainian-speaking environment with a minimal level of language proficiency. In class, students will primarily use Ukrainian, not Japanese. However, Japanese translation will be provided for all Ukrainian-language content used in class. Pronunciation exercises, simple poems, and rhymes will be used to develop accuracy and fluency in speaking the Ukrainian language. By the end of the intensive course, students will be able to participate in basic conversations in Ukrainian. They will

ポルトガル語入門：ブラジル文化とポルトガル語を楽しく学ぶ

L105・6限

ジアス・ハダマ・パトリシア（5コマ）

教材：教科書は使わない 授業の使用言語：日本語、英語、ポルトガル語

◆講師プロフィール

Patricia Dias Hadama

（ジアス ハダマ パトリシア）

【学位】修士（ポルトガル語研究）

専攻：ポルトガル語研究

機関：ポルトガル公開大学(Universidade

Aberta de Portugal, UAb)

所在地：ポルトガル

【学位】学士（ポルトガル語・英語教育）

専攻：ポルトガル語・英語教員養成課程

機関：パウリスタ大学 (Universidade Paulista)

所在地：ブラジル・サンパウロ

【大学院専門課程】大学教員養成

専攻：大学教員養成・高等教育教授法

機関：パウリスタ大学 (Universidade Paulista)

所在地：ブラジル・サンパウロ

【大学院専門課程】ブラジル文化・文学

専攻：ブラジル文化・文学研究

機関：ラバ教育大学 (Universidade de Educação de Lapa)

所在地：ブラジル・リオデジャネイロ

【大学院専門課程】ポルトガル語教授法

専攻：ポルトガル語教授法

機関：ラバ教育大学 (Universidade de Educação de Lapa)

所在地：ブラジル・リオデジャネイロ

南山大学 非常勤講師

中部大学 非常勤講師

名古屋外国語大学 非常勤講師

愛知県立大学 非常勤講師

パウリスタ大学 指導員

ブラジル・ポルトガル語、ブラジル文化、ブラジル文学、ブラジル・ポルトガル語教育の方法論



◆講座の趣旨・目標

ブラジル・ポルトガル語を初めて学ぶ方も、基礎をお持ちの方も、それぞれのレベルに合わせて楽しく学べる講座です。発音、あいさつ、日常表現などを、対話を中心とした実践的な方法でわかりやすく習得していきます。明るく心地よい雰囲気の中で、ブラジルの言語と文化に触れながら学びを深めましょう。

◆講座内容

第1回

[文化的知識]

・ブラジルの歴史と文化の基本的な概要

・ブラジルの地理的・地域的特徴および国としての成り立ち

[言語学習内容]

・基本的なあいさつと自己紹介

・動詞 ser (現在形)

(ポルトガル語の「～です」に相当する動詞)

・名詞の性・数 (男性名詞／女性名詞、単数／複数の区別)

第2回

[文化的知識]

・カーニバルとは何か

・地域ごとの伝統的な祭りや文化 (音楽・衣装・習慣など)

[言語学習内容]

・名詞の性・数の復習

・指示詞 (este / esse / aquele)

(日本語の「これ／それ／あれ」に相当する用法がある)

・所有表現・所有代名詞 (『私の』「あなたの」など)

・形容詞の基本 (語順や名詞との一致のしかた)

第3回

[文化的知識]

・ブラジル音楽の歴史と主なリズム、代表的アーティスト

・ブラジル映画の発展、代表作品、国際的評価

[言語学習内容]

・規則動詞・不規則動詞 (現在形)

(「～します」「～行きます」など、日常動作の基本表現)

・前置詞の使い方 (a / em / de / para など、方向・場所・出身などを表す前置詞)

第4回

[文化的知識]

・ブラジル文学、著名作家、芸術表現の特徴

[言語学習内容]

・過去の表現：

— pretérito perfeito (一度きりの出来事の過去)

— pretérito imperfeito (昔の習慣・長く続いた状態の過去)

・未来の表現：

— futuro do presente (～するつもりです／～するでしょう)

— futuro do pretérito (～するはずでした／～するだろうに)

・場面に応じた時制の使い分け

第5回

[文化的知識]

・ブラジルのスポーツ文化

— サッカー

— カポエイラ

— ブラジリアン柔術

・観光産業との関係、国際的イメージ

[言語学習内容]

・これまで学んだ内容の総まとめ (動詞の使い方、基本語彙、表現、前置詞、あいさつなど)

・理解度の整理と全体的な復習

・ブラジル文化をテーマにした簡単な口頭活動

◆自己紹介

ブラジル・リオデジャネイロ出身です。専門分野は、ポルトガル語、ブラジル文化、ブラジル文学です。大学では、ポルトガル語と言語文化を、楽しく分かりやすい授業となるよう工夫しながら教えています。学生一人ひとりの興味や学習面でも一人ひとりに寄り添い、より深く学べる環境づくりを大切にしています。



言語講座

らくらくタイ語文法から会話

L106・6限

寺田 ダラポン (5コマ)

教材：参考書（購入必須ではない）らくらくタイ語文法+会話 ISBN：4-87731-172-6
授業の使用言語：日本語、タイ語

◆講師プロフィール

寺田 ダラポン（テラダ ダラポン）
三重大学修士、名古屋大学（博士論文・研究生）
愛知大学（タイ語）非常講師、
名古屋外国語大学（タイ語）非常講師
タイ語、数学（教育学）

◆講座の趣旨・目標

本気で学習する人。初級の会話テクニックが完璧にマスターできる。楽しくタイ語の基礎が身につくような授業です。内容は初級のすべてを網羅していませんが、著者のこれまでの語学教育の経験を生かし、学習項目もできるだけ関連性をたせるように工夫しました授業。また、より実践的なタイ語が身につくようにはじめのロシア語能力検定4級：文法のきほんと表現

◆講座内容

- 第1回目 お名前は何と言いますか？
第2回目 空き室はありますか？
第3回目 カニチャーハンをください。
第4回目 あなたの部屋はどこですか？
第5回目 辛いのは食べられますか？

◆自己紹介

タイの大学を卒業し、5年間 The University of The Philippines (Diliman) に留学、その時 America Airforce にタイ語の講師を務めました。33年前に、日本へ来ました。2001年から法律のタイ語の通訳人に務めています。よろしくお願いします。

はじめてのロシア語能力検定4級：文法のきほんと表現

L107・6限

杉山 真央 (5コマ)

教材：教科書は使わない

◆講師プロフィール

杉山 真央（スギヤマ マオ）
大阪大学 博士（言語文化）
名古屋外国語大学 講師
詩の表現、演説・新聞における言説分析

◆講座の趣旨・目標

この講座では、ロシア語の基本をていねいに復習しながら、4級に合格するための実力をゆっくりと身につけることを目標とします。
発音やアクセント、名詞・動詞の変化、会話文の読み方など、試験でよく出るポイントを中心に取り上げ、過去問を使いながら

少しづつ理解を深めます。

ロシア語を初めて受験する方も、基礎を見直したい方も歓迎です。冬の5回で、ロシア語の土台作りと一緒に進めましょう。

◆講座内容

- 第1回：音声・アクセント基礎／複数形の基本／過去問
第2回：複数形（不規則含む）／格変化（主格・対格・前置格）／過去問
第3回：格変化（与格・生格）／和文露訳・露文和訳／過去問
第4回：動詞の現在・過去・未来／会話文朗読／過去問
第5回：会話文朗読／総合復習／過去問

英文法・語法ビルドアップ講座：TOEIC® L&R, TOEFL® ITP 攻略のストラテジー！

L108・6限

橋尾 晋平（5コマ）

教材：教科書は使わない

◆講師プロフィール

橋尾 晋平（ハシオ シンペイ）

同志社大学博士（文化情報学）

名古屋外国語大学言語教育開発センター外国語担当専任講師

応用言語学、英語教育、コミュニケーション学

◆講座の趣旨・目標

英文法・語法は、英語学習で避けて通れない重要な分野です。本講座では、TOEIC® L&R や TOEFL® ITP の文法問題を素材に、実践的なアプローチで文法力を強化します。担当者自身の学習経験と、過去10年の大学で担当授業で得た知見をもとに、「文法が理解できるとはどういうことか」「問題を解くうえで何を知っておかないといけないのか」「どうしたら『できる』という自信が持てるようになるのか」について5日間の講座で余すことなくお伝えしたいと思います。

◆講座内容

第1回 プレテスト、文法の位置づけ・捉え方、品詞・文構造
(1)

第2回 品詞・文構造 (2)

第3回 動詞に関する文法（時制、態、仮定法）

第4回 場所・時間に関する文法（前置詞・接続詞・副詞）

第5回 関係代名詞・関係副詞、ポストテスト、授業のまとめ

※全5回の授業のため、極力取り扱う文法項目は絞って授業を行う予定ですが、受講する方のレベル・ニーズに応じて講座内容を一部変更することがあります。

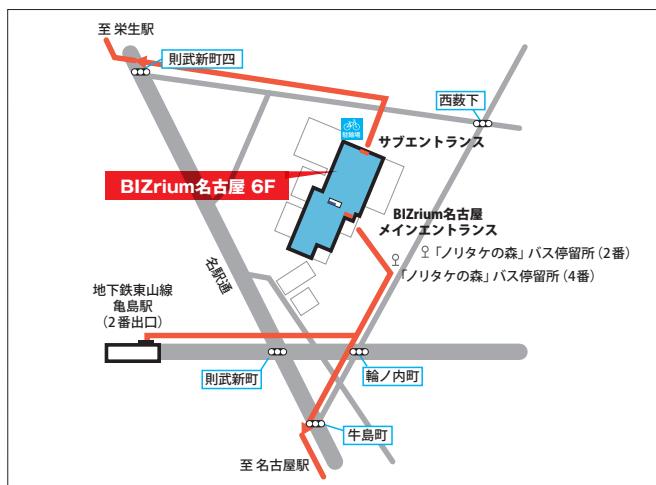
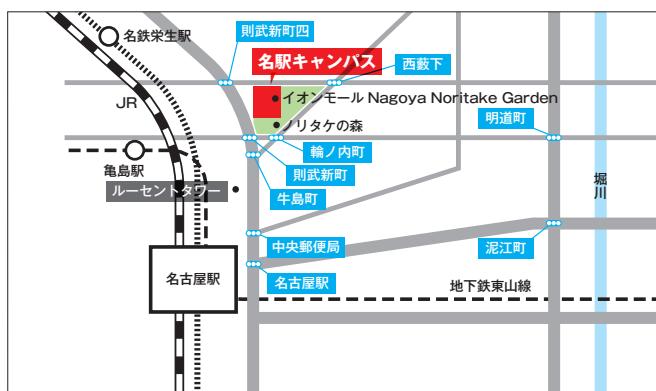
◆対象の英語レベル

英検準二級～準一級取得者、TOEIC L&R の300～750点取得者の初級・中級レベルの方を対象とすることを想定しています。上級レベルの方の受講も大歓迎です。

◆自己紹介

5日間の冬期講座が皆さんの英語学習におけるよい「きっかけ」「気づき」になるように担当者として努力を惜しません。これから英語を学びたい人、もっと英語の力を伸ばしたい人はぜひ一緒に学びましょう！

イオンモール店内から名駅キャンパス（オフィスビル：BIZrium名古屋 6階）へは行けませんので、
こちらの写真にある BIZrium名古屋のエントランスからご入館ください。



名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト) BIZrium名古屋 6F

(イオンモールNagoya Noritake Garden併設)

〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町3丁目1番17号 BIZrium名古屋6F

JR 名古屋駅から徒歩12分、地下鉄東山線 亀島駅から徒歩6分

名鉄名古屋本線 栄生駅から徒歩10分

名古屋市営バス・なごや観光ルートバス(メーブル)「ノリタケの森」下車(名古屋駅バスターミナル(6番のりば)から乗車時間約4分)